

SHARP

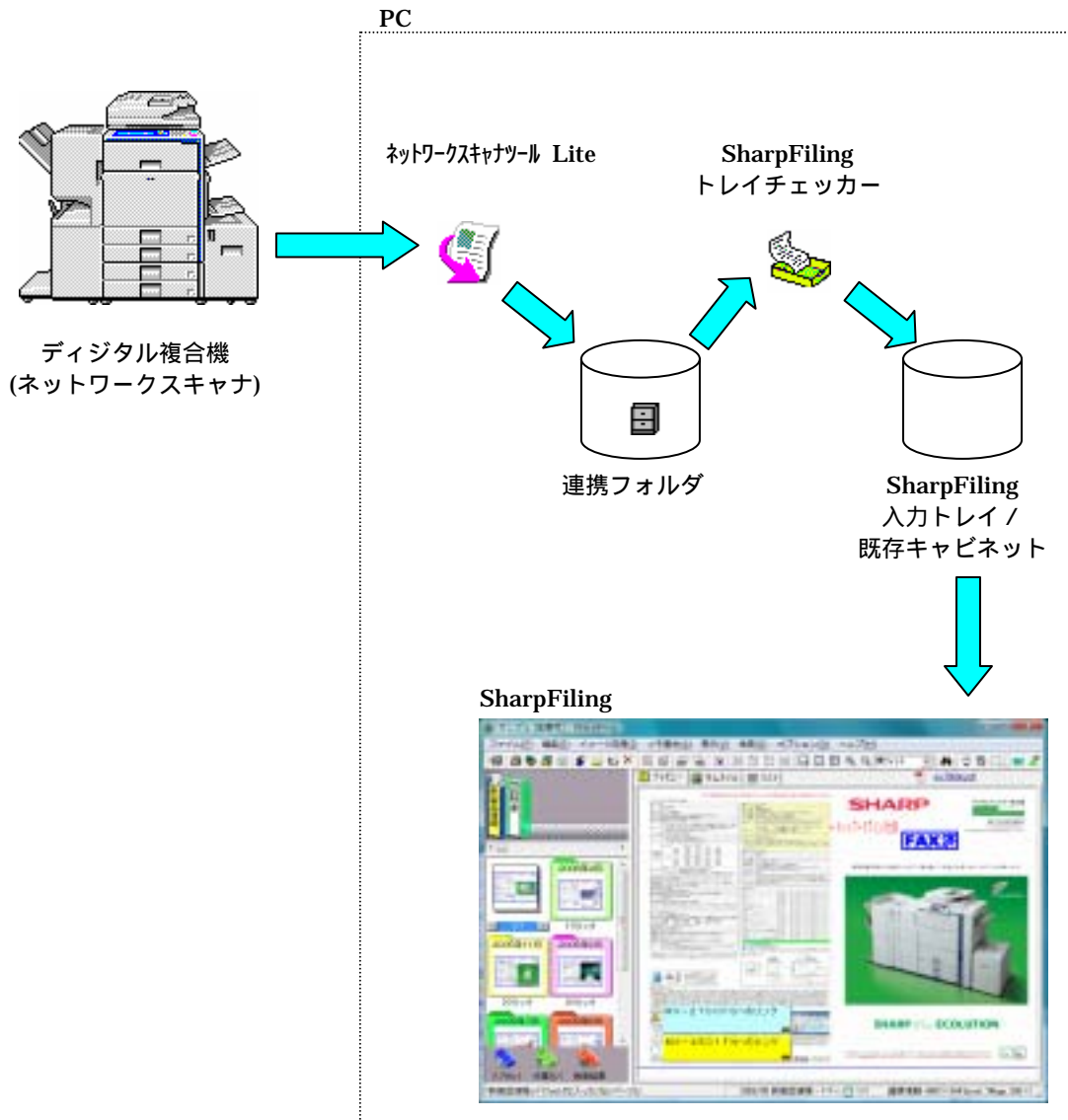
SharpFiling
ネットワークスキャナツール Lite
(NST Lite)

連携設定手順書

初 版	2002年	1月 15日
第2版	2002年	2月 6日
第3版	2002年	2月 18日
第4版	2002年	3月 4日
第5版	2002年	6月 11日
第6版	2003年	7月 16日
第7版	2004年	5月 25日
第8版	2004年	10月 28日
第9版	2007年	3月 6日

シャープ株式会社
ドキュメントシステム事業本部

SharpFiling とネットスキャナツール Lite との連携構成



SharpFiling とネットワークスキャナツール Lite を連携するには、ネットワークスキャナツール Lite と SharpFiling トレイチェッカーの双方に設定が必要になります。

「連携フォルダ」の位置（パス）は、双方で必ず同じになるよう注意してください（ネットワークスキャナツール Lite 側では、「連携フォルダ」のパスは、「ファイルの移動先」として設定します）。

1 . インストール

SharpFiling (Ver.3.2 以降、但し Ver.4.0 を除く) とネットワークスキャナツール Lite (Ver.1.1 以降) またはネットワークスキャナツール (Ver.3.21 以降) を本章の手順でインストールすると、デフォルトの状態ではシャープ複合機からスキャンしたページを SharpFiling の入力トレイに入れることができるようになります。

1 SharpFiling Ver.4.0 は SharpFiling Ver.4.1 アップデートモジュールで SharpFiling Ver.4.1 にアップデート頂くことで SharpFiling を Windows Vista 上でご使用になれます。アップデートモジュールは下記ページよりダウンロード頂けます。(2007/02/28 現在)

SharpFiling Ver.4.1 アップデートモジュール

http://www.sharp.co.jp/print/download/sharpfiling/sfiling_up41.html

2 以下の説明で用いられるネットワークスキャナツール Lite の画面はネットワークスキャナツール Lite Ver.1.1 のものです。画面は仕様変更等により変更になることがあります。

3 ネットワークスキャナツール Lite Ver.1.1 はネットワークスキャナツール (Ver.3.21 以降) の機能を一部制限したものですので、ネットワークスキャナツール (Ver.3.21 以降) を用いられる場合、以下の説明で用いられる画面は多少異なります。

1 . 1 SharpFiling のインストール

SharpFiling を、インストーラの指示に従って、インストールしてください。

ネットワークスキャナツール Lite より先にインストールすることが重要です。

SharpFiling インストーラは、ネットワークスキャナツール Lite と SharpFiling を連携するフォルダ (ファイルシステム上の物理的なフォルダ) を、キャビネット保存フォルダの下に自動的に作成します。

【例】 C:¥SharpFiling Data¥NST Data

1 . 2 ネットワークスキャナツール Lite のインストール

ネットワークスキャナツール Lite を、インストーラの指示に従って、インストールしてください。

インストール完了後 (もしくは再起動後) ネットワークスキャナツール Lite セットアップウィザードが自動的に起動しますので、以下の手順に従って作業を進めてください。

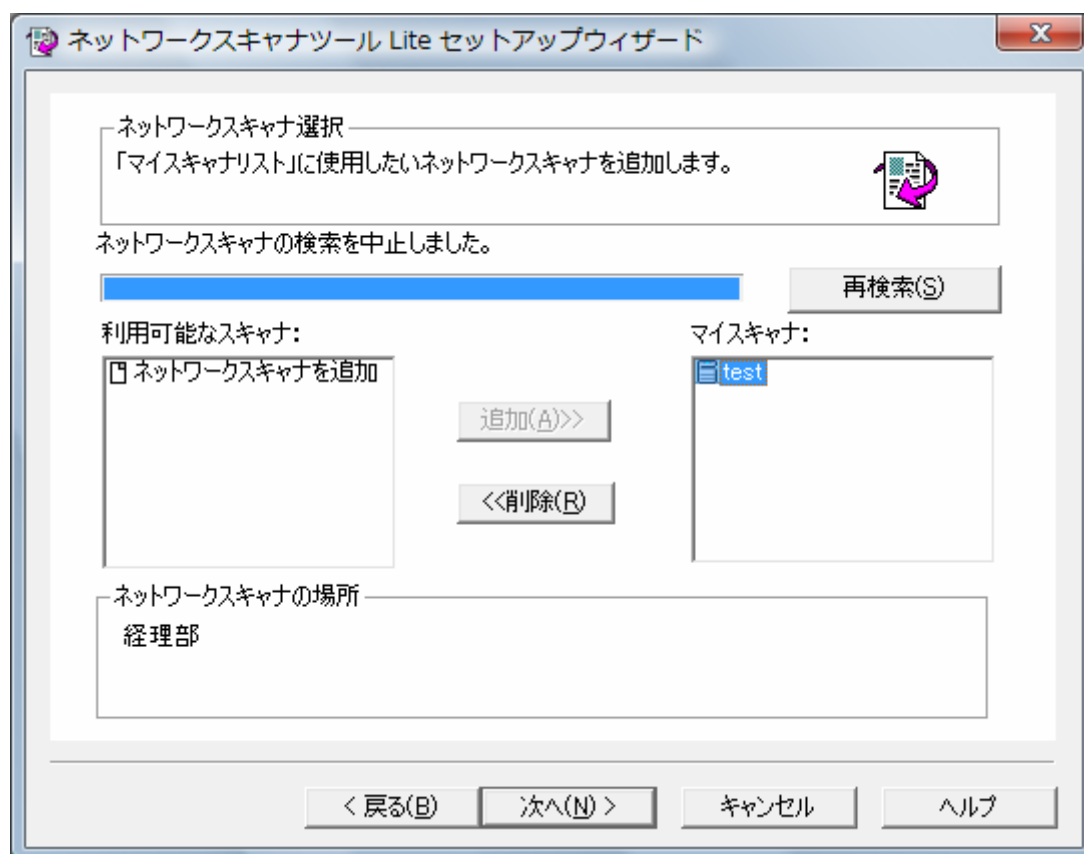
セットアップウィザードの開始

表示されている内容を確認し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

ネットワークスキャナの追加

お使いの PC と LAN で繋がっているネットワークスキャナ（シャープ複合機）が自動検索され、[利用可能なスキャナ]リストに追加されます（検索できない場合等、詳しくは、ネットワークスキャナツール Lite のユーザーガイド / ヘルプ）を参照してください。

利用するネットワークスキャナを選択し、[追加]ボタンをクリックして、[マイスキャナ]リストに追加し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



プロファイルの接頭辞入力

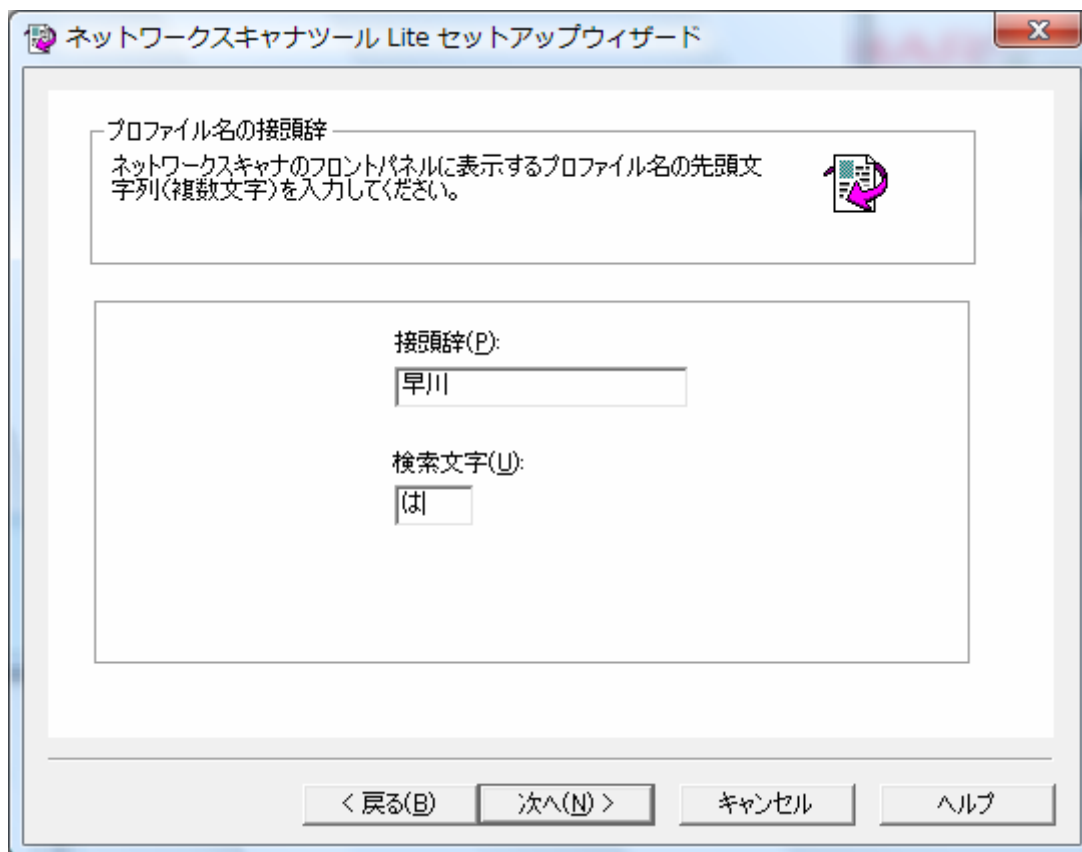
[接頭辞]エディットボックスに、複合機側の操作パネルに表示される名前を入力してください。お使いの PC 名やユーザ名を識別できる名前文字列を推奨します。

【例】 早川

[検索文字]エディットボックスに、複合機側での操作パネル上での分類を入力してください。上記デスクトップのプロファイルで入力した文字列の先頭1文字（ひらがな）を推奨します。

【例】 は

[次へ]ボタンをクリックしてください。

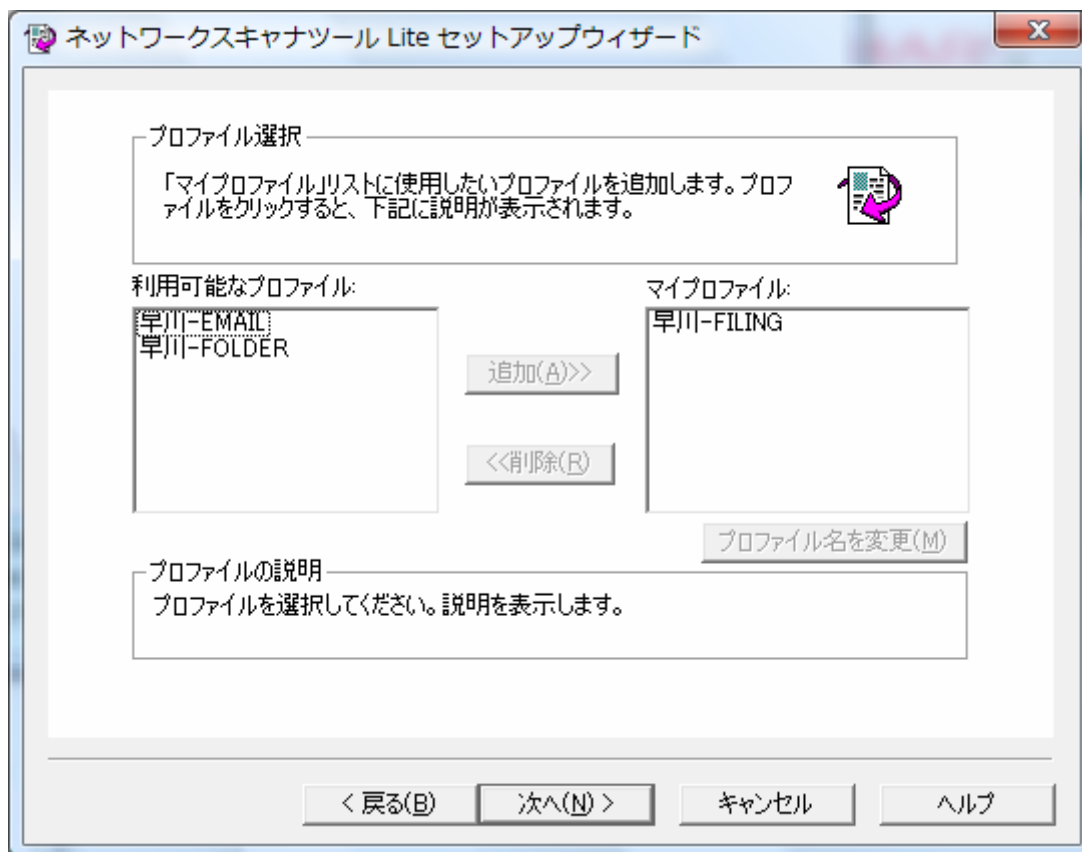


プロファイルの追加

[マイプロファイル]リストに、SharpFiling 用プロファイル（接頭辞 + ”-FILING”）が追加されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

SharpFiling がインストールされていない場合は、SharpFiling 用プロファイルは自動的に追加されません。その場合、次章以降を参照し、手動でプロファイルを作成する必要があります。

あります。



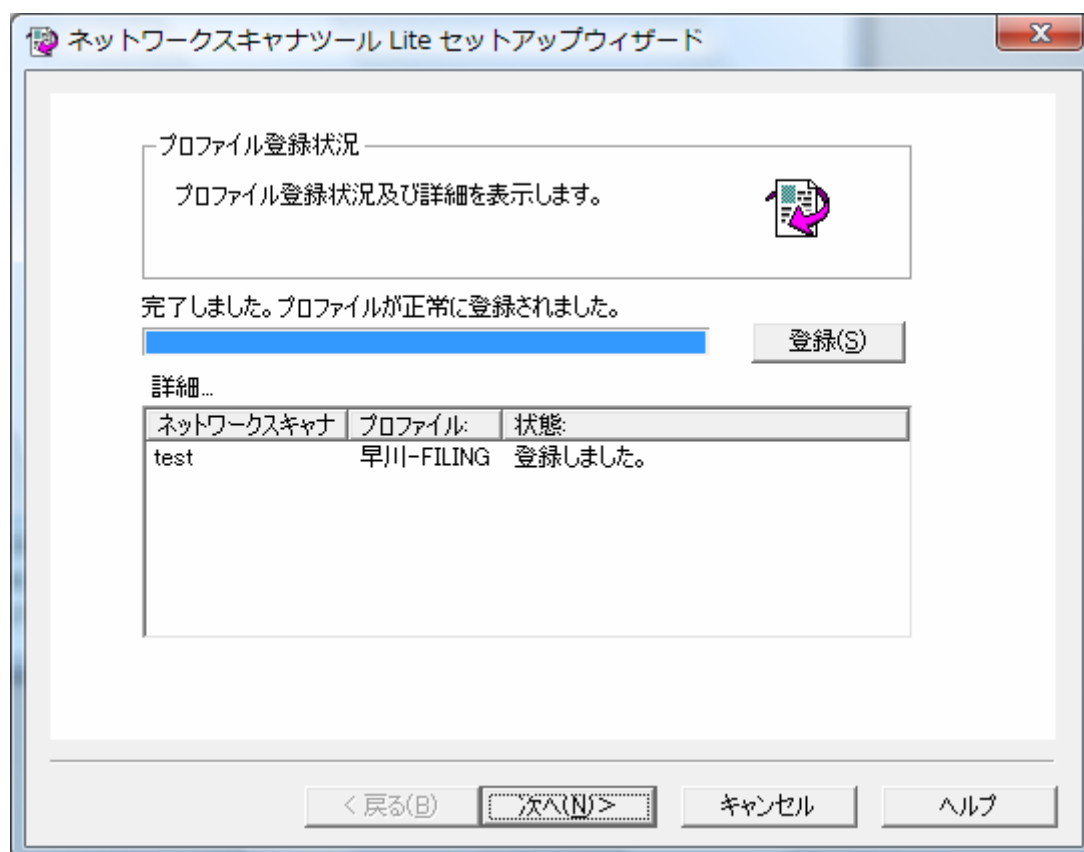
プロフィールの登録

プロフィールをネットワークスキャナへ登録する準備ができた旨を示す画面が表示されますので、内容を確認し、[登録]ボタンをクリックしてください。

プロフィール登録状況の確認

プロフィールが正常に登録されたことを確認してください（エラーが発生した場合等、詳しくは、ネットワークスキャナツール Lite のユーザーガイド/ヘルプ）を参照してください。

[次へ]ボタンをクリックしてください。



セットアップウィザードの終了

設定が完了した旨を示す画面が表示されますので、[完了]ボタンをクリックして、セットアップウィザードを終了してください。

以上で、シャープ複合機からスキャンしたページを SharpFiling の入力トレイに入れることができるようになりました。実際にスキャンしたページが入力トレイに挿入されることを確認してください。

次章以降では、デフォルトの設定ではなく、新たに「連携フォルダ」を手動で設定する方法について説明しています。

2 . 連携フォルダの作成

本章以降では、新たに「連携フォルダ」を手動で設定する方法について説明します。

ネットワークスキャナツール Lite と SharpFiling を連携するフォルダ（ファイルシステム上の物理的なフォルダ）を、ファイルエクスプローラ等を使って作成してください。

【例】 C:¥SharpFiling Data¥NST Data2

フォルダの位置はどこでも構いませんが、そのフォルダに入った画像ファイルは、自動的に SharpFiling に取り込まれた後削除されますので、普段他のアプリケーションで使用する場所は避けてください。

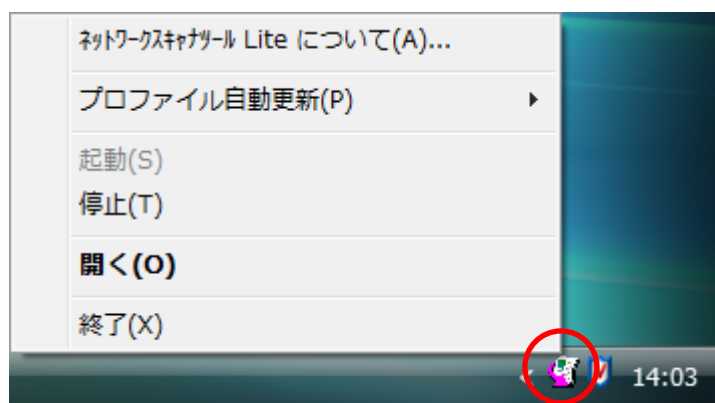
以下、ネットワークスキャナツール Lite の設定（第3章）、トレイチェッカーの設定（第4章）をおこなってください。

3 . ネットワークスキャナツール Lite の設定

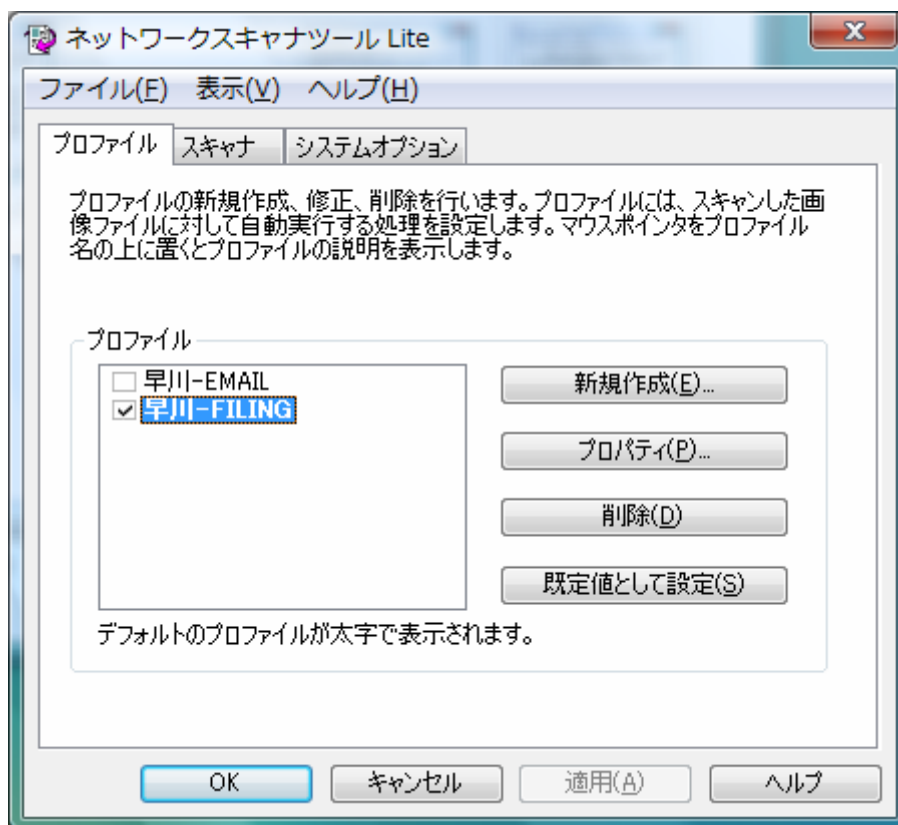
お使いの PC 上で、以下の手順に従って、ネットワークスキャナツール Lite の設定を変更してください。

3 . 1 設定ダイアログの表示

タスクトレイ中のネットワークスキャナツール Lite アイコンを右クリックして表示されるメニューから [開く] を選択します。



以下の設定ダイアログが表示されます。ここであらかじめ設定されているプロフィールの内容は、ネットワークスキャナツール Lite のインストール時の設定内容等に依存します。



3.2 プロファイルの新規作成

新しいプロフィールを定義するため、[新規作成]ボタンをクリックします。

プロフィールのプロパティダイアログが表示されますので、ダイアログ中の説明に従って各項目を設定してください。

・デスクトップのプロファイル

複合機側の操作パネルに表示される名前を入力します。お使いの PC 名(またはユーザ名)とアプリケーションを識別できる名前を組み合わせた文字列を推奨します。

【例】 早川-Filing2

・検索文字

複合機側での操作パネル上での分類を入力します。上記デスクトップのプロファイルで入力した文字列の先頭 1 文字(ひらがな)を推奨します。

【例】 は

SHARP

・内容

このプロファイルについて説明するコメントです。

【例】 SharpFiling のキャビネットにファイリングします。

・画像処理

画像処理を行うかどうかを指定します。[画像処理]チェックは外してください。

・電子メールに添付する

複合機から受けた画像データを電子メールに付けて発信するかどうかを設定します。[電子メールに添付する]チェックを外してください。

・プログラムを起動する

複合機から画像データを受信した後、他のアプリケーションを起動するかどうかを設定します。[プログラムを起動する]チェックは、以下のケースに応じて設定してください。

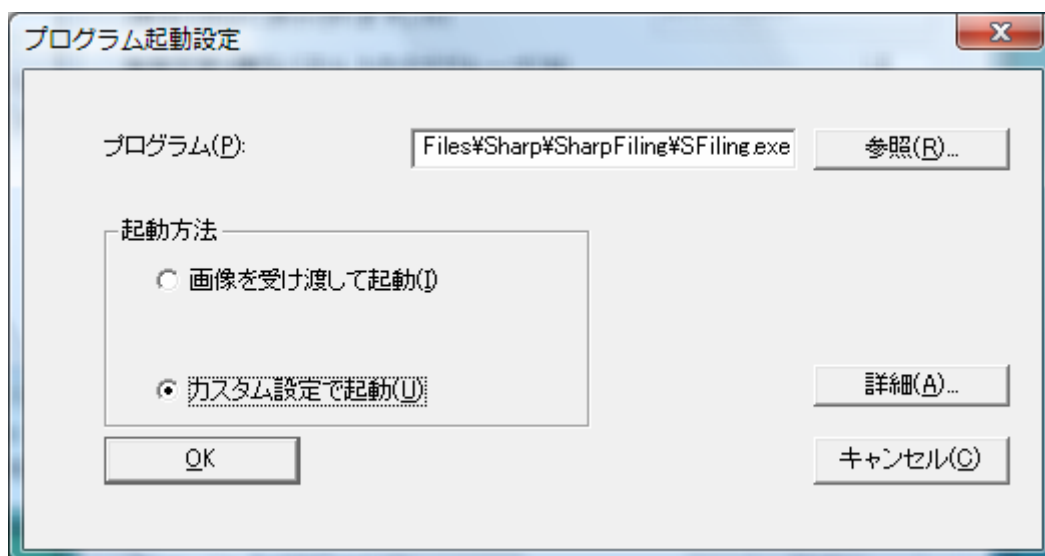
トレイチェッカーを常駐する場合

[プログラムを起動する]チェックを外してください。

トレイチェッカーを常駐しない場合

[プログラムを起動する]チェックを付けて、右横の[詳細]ボタンをクリックしてください。アプリケーション起動オプションダイアログが表示されますので、起動するアプリケーションとして、SharpFiling がインストールされているフォルダの下のトレイチェッカー(SFScan.EXE)を指定してください。

【例】 C:\Program Files\Sharp\SharpFiling\SFScan.EXE



[カスタム設定で起動]チェックを付けて、右横の[詳細]ボタンをクリックして表示される起動プログラムのコマンドライン パラメータに”/RunOnce”と指定してください。

[OK]ボタンをクリックして、起動プログラムのコマンドラインパラメータダイアログを閉じた後、再度[OK]ボタンをクリックして、プログラム起動設定ダイアログを閉じてください。

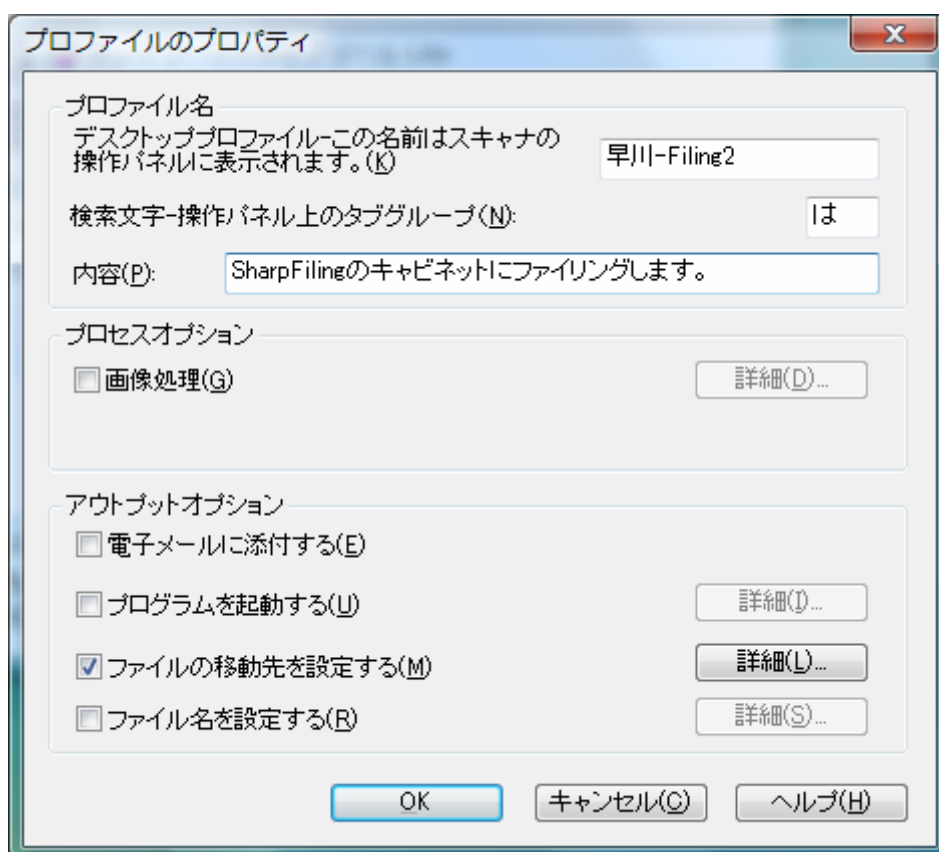
・ファイルの移動先を設定する

複合機から受けた画像データをどこへ移動するかを設定します。[ファイルの移動先を設定する]チェックを付けて、右横の[詳細]ボタンをクリックして、SharpFiling とネットワークスキャナツール Lite との連携フォルダを指定してください。

【例】C:¥SharpFiling Data¥NST Data2

・ファイル名を設定する

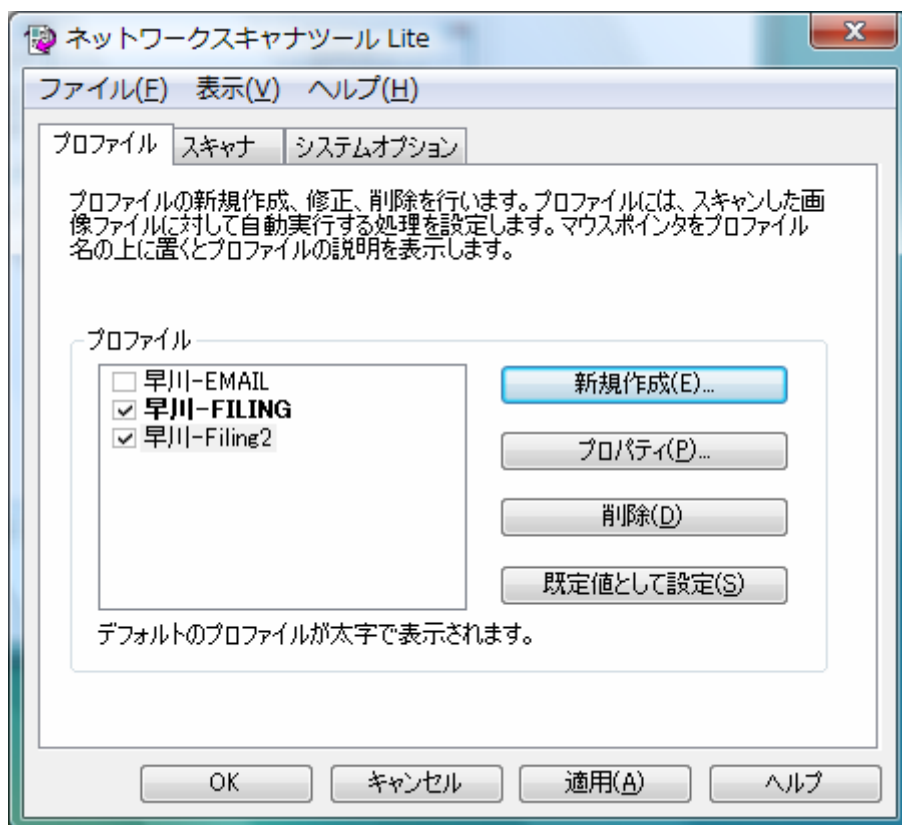
複合機から受けた画像データのファイル名をどう付けるかを設定します。[ファイル名を設定する]チェックを外してください。



以上の設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして、プロファイルのプロパティダイアログを閉じます（上図は、トレイチェッカーを常駐する場合の例です）。

3.3 複合機の設定更新

[プロファイル]リストに 3.2 で作成したプロファイルが追加されていますので、そのプロファイル名を選択し、[既定値として設定]ボタンを押します。



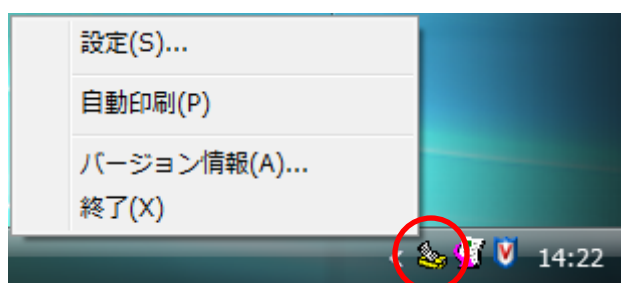
以上の設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックして、複合機への設定更新をおこないます。

4 . SharpFiling トレイチェッカーの設定

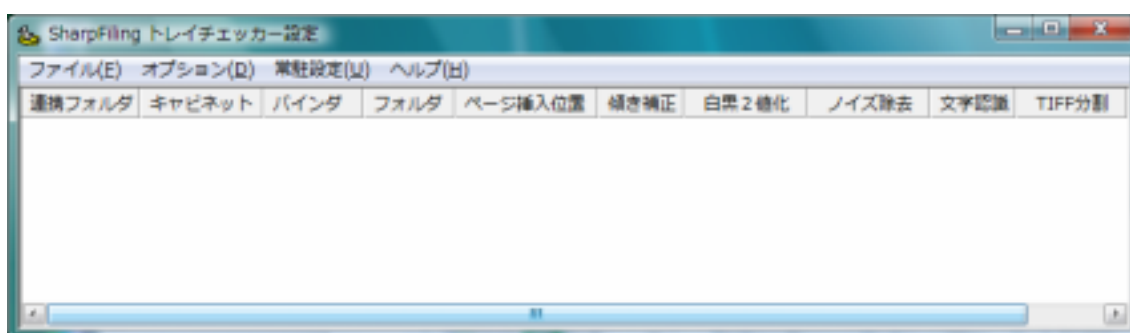
お使いの PC 上で、以下の手順に従って、SharpFiling トレイチェッカーの設定を変更してください。

4 . 1 設定ダイアログの表示

タスクトレイ中のトレイチェッカーアイコンを右クリックして表示されるメニューから [設定] を選択します。トレイチェッカーが起動されていない場合は、スタートメニューの [すべてのプログラム] - [SharpFiling] - [トレイチェッカーの設定] を選択します。



以下の設定ウインドウが表示されます。インストール直後の状態では、以下の例で説明する連携フォルダがあらかじめ 1 つ設定されています。



4 . 2 連携フォルダの追加

設定ウインドウのメニュー [オプション] - [新しい連携フォルダを登録] を選択し、連携フォルダの位置設定ダイアログを表示します。

ここで、連携フォルダの位置として、SharpFiling とネットワークスキャナツール Lite との連携フォルダを指定します。

このフォルダパスが、ネットワークスキャナツール Lite の設定で指定した「ファイルの移動先」と同じである必要があります。



次に進むために、[次へ]ボタンをクリックします。

4.3 ページ挿入先の選択

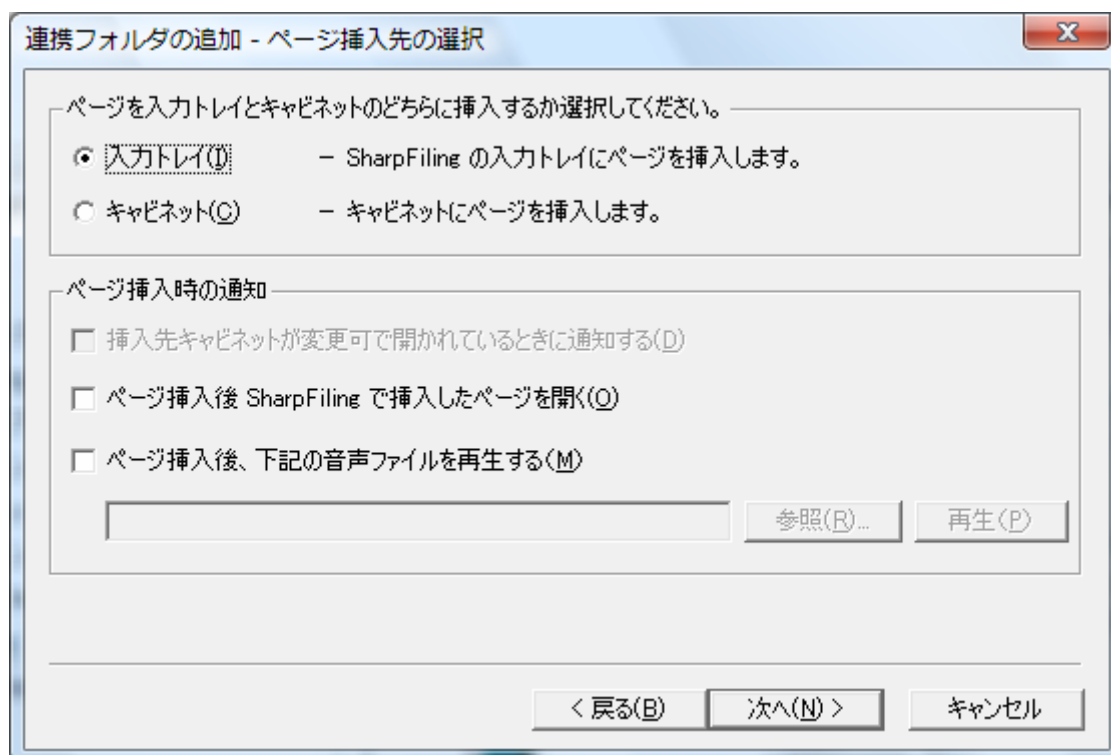
ページ挿入先の選択ダイアログが表示されるので、SharpFiling の入力トレイにページを挿入するか、既存のキャビネット内にページを挿入するかを指定します。

入力トレイへページ挿入する場合

入力トレイへページ挿入する場合は、[入力トレイ]を選択します。入力トレイ内のページは、他の PC 上の SharpFiling から参照できません。

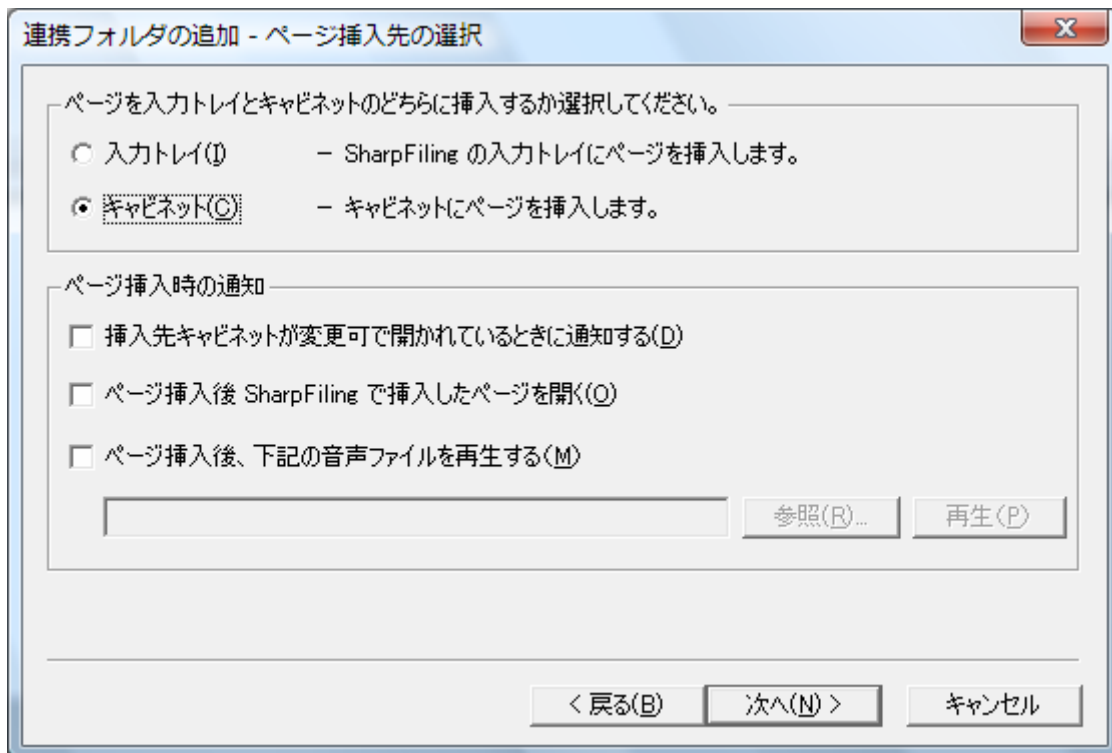
トレイチェッカーから入力トレイにページが挿入された後、SharpFiling を起動する場合は、[ページ挿入後 SharpFiling で挿入したページを開く]チェックを付けてください。このチェックを付けておくと、ページが挿入された時点で SharpFiling が既に起動中であった場合は、入力トレイ内のページ情報を自動更新します。

次に進むために、[次へ]ボタンをクリックします。



キャビネットへページ挿入する場合

既存のキャビネットへページ挿入する場合は、[キャビネット]を選択します。



挿入先のキャビネットを（自分の PC やネットワーク共有している他の PC 上の）SharpFiling が変更可モードで開いている場合、トレイチェッカーはページ挿入することができません。そのキャビネットが閉じた後にページ挿入します。[挿入先キャビネットが変更可で開かれているときに通知する]チェックを付けておくと、トレイチェッカーはページ挿入できなかった時に、メッセージボックスを表示します。このチェックを付けておくと、自分の PC 上で動作している SharpFiling がページ挿入先のキャビネットを変更可モードで開いている場合には、ユーザは現在開いているキャビネットを自動的に閉じるよう指示することができます。

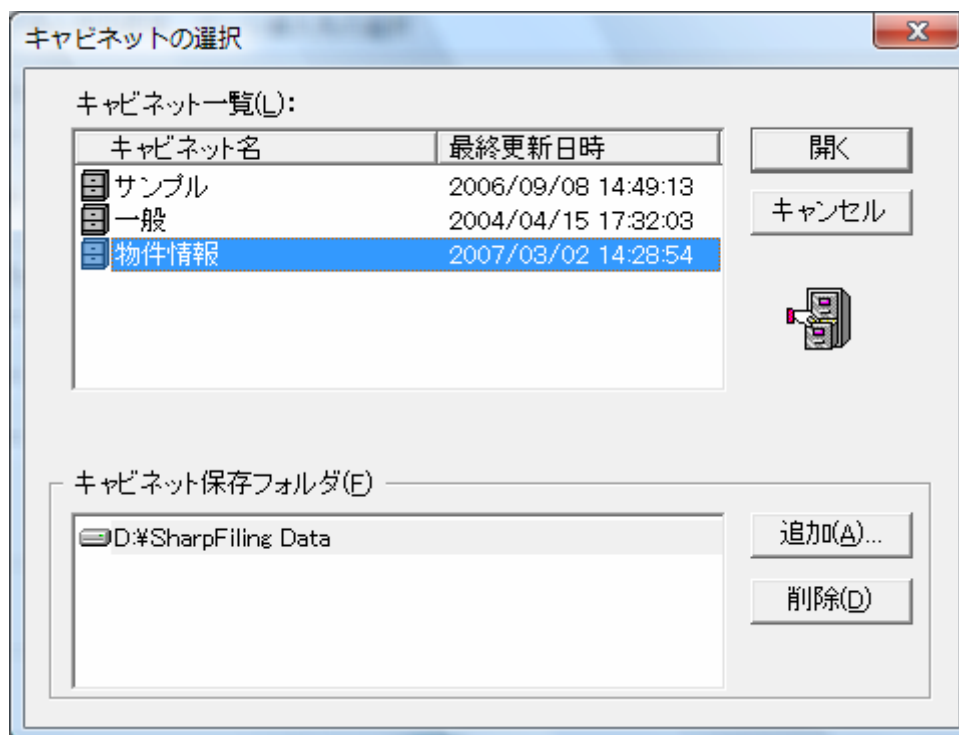
トレイチェッカーからキャビネットにページが挿入された後、SharpFiling を起動する場合は、[ページ挿入後 SharpFiling で挿入したページを開く]チェックを付けてください。このチェックを付けておくと、ページが挿入された時点で SharpFiling が既に起動中であった場合は、SharpFiling はページ挿入したキャビネットを開き、挿入されたページを表示します。

次に進むために、[次へ]ボタンをクリックします。

キャビネット選択ダイアログが表示されるので、ページ挿入先のキャビネットを選択します。

ここで選択したキャビネットを、他の PC から SharpFiling で参照できるようにするためには、該当キャビネット保存フォルダをネットワーク共有設定し、他の PC 上のユーザが

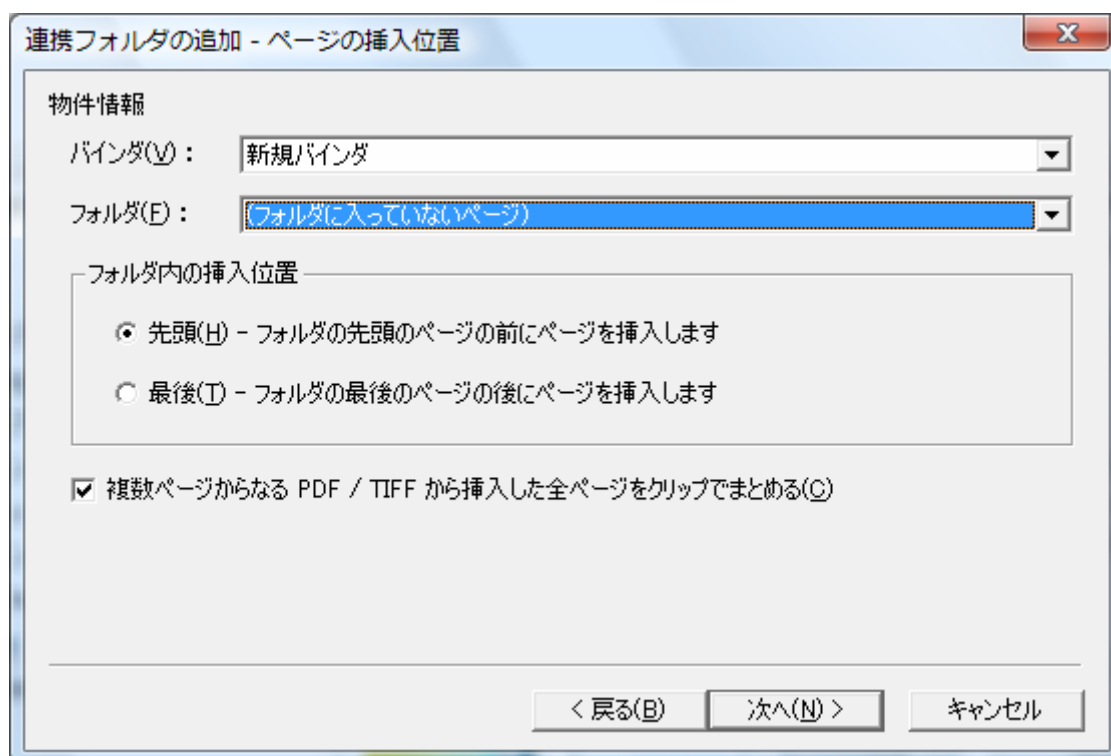
ら読み書きできるようにしてください。



キャビネットを選択して、[開く]ボタンをクリックしてください。

4.4 ページ挿入位置の指定

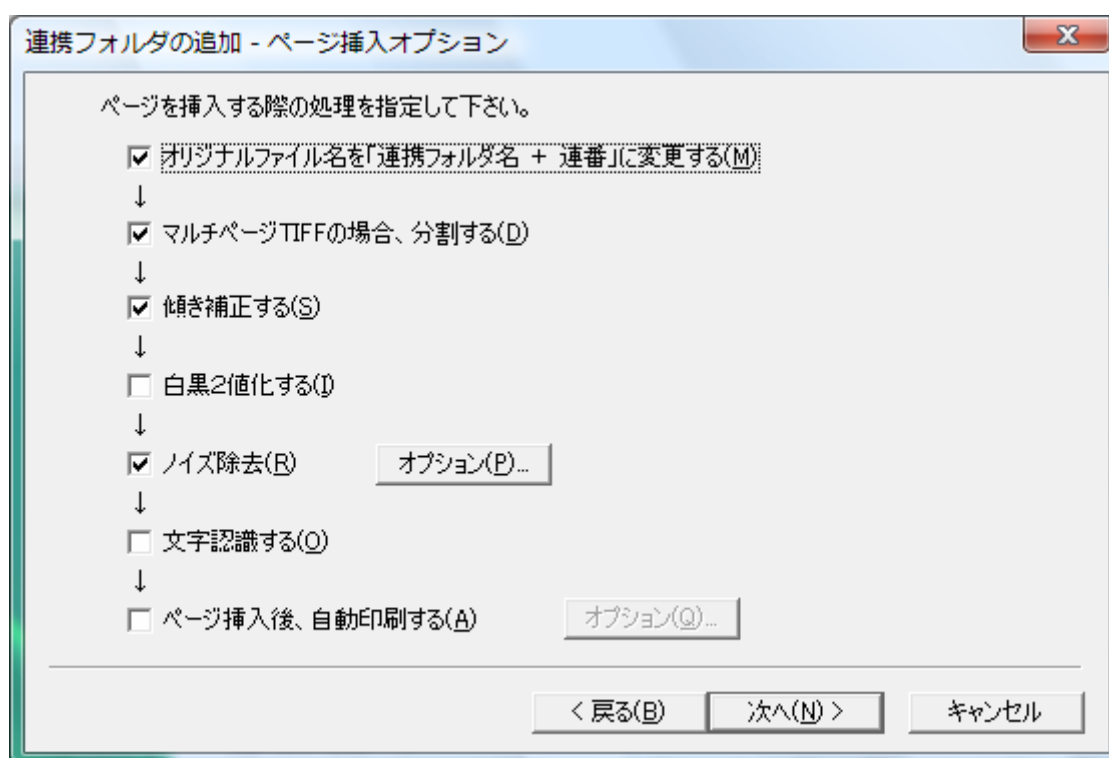
ページ挿入位置の指定ダイアログが表示されるので、挿入位置を指定します。キャビネットへページ挿入する場合は、挿入先のバインダとフォルダも指定します（下図は、入力トレイへページ挿入する場合の例です）。



次に進むために、[次へ]ボタンをクリックします。

4.5 ページ挿入オプションの指定

ページ挿入オプションの指定ダイアログが表示されるので、ページ挿入時におこなう処理を指定します。ページ挿入オプションは、連携フォルダごとに指定することができます。



次に進むために、[次へ]ボタンをクリックします。

4.6 設定確認

確認ダイアログが表示されるので、設定内容を確認し、[完了]ボタンをクリックします。

4.7 設定ウィンドウを閉じる

設定ウィンドウのリストに、新しく登録した連携フォルダが表示されます

これですべての設定が完了しました。

メニュー[常駐設定]を選択し、トレイチェッカーが常駐する設定になっていることを確認してください(通常、[スタートアップから起動する]を選択状態にします)。常駐しない設定の場合には、ネットワークスキャナツール Lite の設定によって、トレイチェッカーをその都度起動するようにしてください(「3.2 プロファイルの新規作成」参照)。